

岩手

県

立

大

学

盛

岡


短

期

大

学

部

 Iwate Prefectural University
Morioka Junior College
平成28年度

入学者選抜要項

目 次

平成28年度入学者選抜の変更	1
岩手県立大学盛岡短期大学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	2
I 平成28年度入学者選抜の概要	5
1 募集人員	
2 選抜方法・実施日程	
○ 一般入試	6
1 募集人員	
2 選抜方法・実施日程	
3 出願資格	
4 出願上の注意	
5 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目および個別学力検査等の実施内容	
6 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点	
○ 推薦入試（一般）	8
1 募集人員	
2 実施日程	
3 出願資格	
4 出願上の注意	
5 推薦人数	
6 入学者選抜等の実施内容	
7 配点	
○ 推薦入試（特別）	10
1 募集人員	
2 実施日程	
3 出願資格	
4 出願上の注意	
5 推薦人数	
6 入学者選抜等の実施内容	
7 配点	
○ 社会人入試	12
1 募集人員	
2 実施日程	
3 出願資格	
4 出願上の注意	
5 入学者選抜等の実施内容及び配点	
○ 帰国子女入試、中国引揚者等子女入試、私費外国人留学生入試	14
1 募集人員	
2 実施日程	
3 出願資格	
4 出願上の注意	
5 入学者選抜等の実施内容及び配点	
II 平成27年度入学者選抜合格者成績統計	17
1 一般入試合格者の最高点、最低点及び平均点	
2 推薦入試（一般）合格者の最高点、最低点及び平均点	
3 平成27年度岩手県立大学盛岡短期大学部入学者選抜結果	
III 平成29年度入学者選抜の変更（予告）	18
IV 参考資料	19
1 学生募集要項の発表時期・交付期間	
2 学生募集要項の請求方法	
3 前年度過去問題の請求方法	
4 その他	
5 お問い合わせ	

平成28年度入学者選抜の変更

1 大学入試センター試験利用教科・科目の変更

平成25年度から実施された新高等学校学習指導要領による平成28年度大学入試センター試験利用教科・科目等については、次のとおりです。

※太字表示は必須教科・科目

学科・専攻名	教科	科目
生活科学科 生活科学専攻	国※ 数※ 理※ 外※	国（近代以降の文章のみ）※ 数Ⅰ・数A※ 物理基礎、化学基礎、生物基礎、物理、化学、生物 から1 ただし、「基礎を付した科目（物理基礎、化学基礎、生物基礎）」については、2科目の受験で1科目とみなす。 英語（リスニングを含まない）※

4教科4科目または4教科5科目

学科・専攻名	教科	科目
生活科学科 食物栄養学専攻	国※ 数※ 理※ 外※	国（近代以降の文章のみ）※ 数Ⅰ・数A※ 化学基礎、生物基礎、化学、生物 から1 ただし、「基礎を付した科目（化学基礎、生物基礎）」については、2科目の受験で1科目とみなす。 英語（リスニングを含む）※

4教科4科目または4教科5科目

学科・専攻名	教科	科目
国際文化学科	国※ 地歴 公民 外※	国※ 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫理、政経、倫政経 英語（リスニングを含む）※

3教科3科目

2 生活科学科生活科学専攻における大学入試センター試験利用教科・科目の変更

生活科学科生活科学専攻における大学入試センター試験利用教科・科目について、数Ⅱ・数Bを利用しないこととします。

3 社会人入試の創設

生活科学科両専攻において、社会人入試を創設します。

○ 募集人員

学科・専攻名	募集人員	
生活科学科	生活科学専攻	若干名
	食物栄養学専攻	若干名

○ 出願期間、試験日程

推薦入試と同一日程です。

○ 出願資格

平成28年4月1日現在で満23歳に達しているもので、就業経験（家事を含む）を有し、次のいずれかに該当する者。

- (1) 高等学校を卒業したもの
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了したもの
- (3) 学校教育法施行規則150条（第6号を除く）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

○ 試験内容及び配点

小論文及び面接により総合的に判断します。

学科・専攻名	小論文	面接	合計
生活科学科	生活科学専攻	75	150
	食物栄養学専攻		

岩手県立大学盛岡短期大学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 建学の理念

「自然」「科学」「人間」が調和した新しい時代を創造することを願い、人間性豊かな社会の形成に寄与する、深い知性と豊かな感性を備え、高度な専門性を身につけた自律的な人間を育成する大学を目指す岩手県立大学の短期大学部として、教養教育と密接な関連を保ちながら、専門の学芸を教授研究し、豊かな感性を身につけた有為な職能的社会人を育成するとともに、地域社会の発展、国際社会の発展に寄与することを目的とします。

2 大学の基本的方向

・豊かな教養の修得と人間尊重の精神の涵養

幅広い教養を身につけ、互いの人格を尊重する「豊かな教養の修得と人間尊重の精神を涵養する大学」とします。

・学際的領域を重視した特色ある教育・研究

様々な課題を的確に捉え、幅広く対応する能力を身につける「学際的領域を重視した特色ある教育・研究を行う大学」とします。

・実学・実践重視の教育・研究

応用分野や実社会での実際教育・研究を重視した「実学・実践重視の教育・研究を行う大学」とします。

・地域社会への貢献

地域社会と密接に連携し、教育・研究の成果を広く還元する「地域社会に貢献する大学」とします。

・国際社会への貢献

国際的な教育・研究の交流拠点として、多様な国際交流を積極的に行うとともに、国際的に活躍できる人材を養成する「国際社会に貢献できる大学」とします。

3 求める学生像

岩手県立大学盛岡短期大学部の建学の理念と基本的方向に共感し、「深い知性と豊かな感性を備え、高度な専門性を身につけた自律的な人間」として育成するのに相応しい学生を求めます。

4 入学者選抜の基本的な考え方

- ① 入学者選抜は、岩手県立大学盛岡短期大学部の建学の理念や各学科の教育目標、特色、専門分野等の特性に相応しい入学者を見出すという観点から行います。
- ② そのため、学力検査のみに偏ることなく、入学志願者の個性や資質、意欲等多様な潜在能力にも配慮しながら、多面的な選抜方法を採用します。
- ③ 入学者選抜において多様な選抜区分と選考方法を採用するとともに、学力検査においては、暗記型の知識を問うのではなく、理解力、表現力、思考力、論理性などを見る試験を目指します。
- ④ 地域の進学需要への対応と岩手県の明日を担う人材の育成という岩手県立大学の設立の趣旨を踏まえ、岩手県及び岩手県民に貢献するため、岩手県内高校の卒業生等を対象とする選抜区分を設け、入学定員の3割を当該選抜区分に充てます。

生活科学科

1. 求める学生像

生活科学科では人間の生活を科学的に探求し、生活の質的な向上を目指して教育、研究を行っています。この目的を達成するために、生活科学専攻と食物栄養学専攻を設け、社会で生きる知識や教養および専門の教育を基本に、実践力を伴う技術や応用力の習得も重視する授業を展開しており、専攻ごとにその内容に関心をもって主体的に取り組み、実践する意欲のある学生を求めます。特にそれぞれの専攻で求める学生像を以下に示します。

<生活科学専攻>

- (1) 住居と衣服に関する科学の基礎から応用までを体系的に理解することができる。
- (2) 環境問題等の社会問題に関心を持ち、より多様化が予測される将来の生活を自ら考え、つくり出すことを目指して、住居と衣服を中心とした幅広い分野にわたる科学的思考や実践に対応していきける。

<食物栄養学専攻>

- (1) 食に関する科学の基礎から応用までを体系的に理解することができる。
- (2) 食生活を支える知識と技術の習得を目指して、食物と栄養、人体の構造と機能、社会生活と健康を中心とした幅広い分野にわたる科学的思考や実践に対応していきける。

2. 入学者選抜の方針

上記の求める学生像を踏まえ、各入試区分では、以下に示す項目を重視して評価します。

一般入試

<生活科学専攻>

- ・短大での勉学に必要な基礎的な学力
- ・「数学」を理解し、論理的に思考する能力
- ・思考力およびそれを伝える表現力

<食物栄養学専攻>

- ・短大での勉学に必要な基礎的な学力
- ・「生物」または「化学」を理解し、論理的に思考する能力
- ・思考力およびそれを伝える表現力

推薦入試（一般）

<生活科学専攻・食物栄養学専攻共通、A・B区分共通>

- ・短大での勉学に必要な基礎的な学力
- ・思考力およびそれを伝える表現力
- ・専門分野への関心度および具体的な取り組み
- ・専門分野の勉学への意欲
- ・専攻の選択理由と将来の進路との関係の一貫性
- ・学校、地域社会、家庭での生活全般における主体性と協調性

社会人入試

- ・資料を読解し、課題に関わる議論を適切な日本語で書くことができる。
- ・志望動機、意欲や体験、思考等を、説得力をもって伝えることができる。
- ・本学科への入学に対する強い目的意識を持ち、入学後に意欲的、主体的に行動できる。

1. 求める学生像

国際文化学科では、豊かな国際性を備え、地域の国際化に貢献できる人材の育成を目標としています。国際化が急速に進む今、自らが拠って立つ地域にしっかりと足をすえ、自他の文化を正しく理解した上で、他者と正しくコミュニケーションできる能力を涵養する教育を実践しています。そのために、以下のような学生を求めます。

- (1) 西洋・アジアおよび日本の多様な文化や交流の歴史に関心を持ち、それらについて基礎的な知識を有している。
- (2) 自らが生活する地域とそれが持つ文化の諸相に関心を持ち、それらについて基礎的な知識を有している。
- (3) さらなる探究心を持ち、社会に積極的に寄与する意欲をもっている。
- (4) 基本的コミュニケーション能力を身につけ、ものごとに主体的に取り組むことができる。

2. 入学者選抜の方針

上記の求める学生像を踏まえ、各入試区分では、以下に示す項目を重視して評価します。

一般入試

- ・資料を読解し、課題に関わる議論を適切な日本語で書くことができる。
- ・国語（古典を含む）、英語（リスニングを含む）を理解し、一定の学力を有している。
- ・歴史・文化・社会に関心を持ち、一定の学力を有している。

推薦入試（一般）

- ・資料を読解し、課題に関わる議論を適切な日本語で書くことができる。
- ・志望動機、意欲や体験、思考等を、説得力をもって伝えることができる。また、初歩的な英会話能力を有している。
- ・高校での学習内容を一定以上修得していると同時に、学習以外の活動にも積極的に取り組んでいる。

推薦入試（特別）

- ・資料を読解し、課題に関わる議論を適切な日本語で書くことができる。
- ・志望動機、意欲や体験、思考等を、説得力をもって伝えることができる。また、初歩的な英会話能力を有している。
- ・外国語の習得等、意欲的に特定の技能の向上を果たしている。

帰国子女入試、中国引揚者等子女入試、社会人入試、私費外国人留学生入試

- ・資料を読解し、課題に関わる議論を適切な日本語で書くことができる。
- ・志望動機、意欲や体験、思考等を、説得力をもって伝えることができる。また、初歩的ないし一般的な英会話能力を有している。
- ・本学科への入学に対する強い目的意識を持ち、入学後に意欲的、主体的に行動できる。

I 平成28年度入学者選抜の概要

1 募集人員

学 科 名	専 攻 名	入学定員	一般入試	推薦入試（一般） ・推薦区分	推薦入試（特別）	社会人入試	帰国子女入試	中国引揚者等子女入試	私費外国人留学生入試
生活科学科	生活科学攻 専	25名	17名	8名	-	若干名	-	-	-
				A区分：3名					
	食物栄養学攻 専	25名	17名	8名	-	若干名	-	-	-
				A区分：3名					
国際文化学科	——	50名	30名	15名	5名	若干名	若干名	若干名	若干名

※ 生活科学科の推薦区分（A・B）については、出願資格を参照してください。

※ 国際文化学科においては、推薦入試（一般）・推薦入試（特別）それぞれにおいて合格者が募集人員に満たない場合は、募集人員に満たない分をもう一方の募集人員に割りあてます。

2 選抜方法・実施日程

入学者の選抜は、一般入試、推薦入試（一般）、推薦入試（特別）、社会人入試、帰国子女入試、中国引揚者等子女入試、私費外国人留学生入試の方法で行います。

選抜区分ごとの試験実施日程は、それぞれ次のとおりです。

選抜区分	出願受付期間	学力検査等の日程	合格発表	入学手続期間
推薦入試（一般） 推薦入試（特別） 社会人入試 帰国子女入試 中国引揚者等子女入試	平成27年11月3日（火） ） 平成27年11月9日（月）	平成27年11月22日（日）	平成27年12月2日（水）	平成27年12月14日（月） ） 平成27年12月18日（金）
私費外国人留学生入試			平成28年1月22日（金）	平成28年1月29日（金） ） 平成28年2月2日（火）
一般入試	平成28年2月12日（金） ） 平成28年2月16日（火）	平成28年3月7日（月）	平成28年3月15日（火）	平成28年3月22日（火） ） 平成28年3月25日（金）

○ 一般入試

1 募集人員

学科・専攻名		募集人員
生活科学科	生活科学専攻	17名
	食物栄養学専攻	17名
国際文化学科		30名
合計		64名

2 選抜方法・実施日程

入学者の選抜は、平成28年度大学入学選抜大学入試センター試験（以下「大学入試センター試験」という。）、本学が実施する個別学力検査等を総合的に判定して行います。

出願受付期間	学力検査等の日程	合格発表
平成28年2月12日（金）から 平成28年2月16日（火）（午後4時必着）	平成28年3月7日（月）	平成28年3月15日（火）

3 出願資格

本学の一般入試に入学を志願できる者は、次のいずれかに該当する者とし、さらに大学入試センター試験で本学の指定する教科・科目を受験していることを要します。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成28年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成28年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条（第6号を除く）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成28年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※ 出願資格の(3)について、学校教育法施行規則第150条第7号の「個別の入学資格審査」を受けて出願しようとする者は、事前に資格審査を受けなければなりません。詳細については、本学入試グループ（019-694-2014）又は本学ホームページで確認してください。

（URL：<http://www.iwate-pu.ac.jp/>）

4 出願上の注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は受理しません。
- (2) 本学が指定した大学入試センター試験の教科・科目を受験していない場合は失格者となり、個別学力検査を受験することができません。
- (3) 出願後の書類の内容変更はできません。
- (4) 受理した書類は返還しません。
- (5) 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学後であっても入学の許可を取り消します。
- (6) 上記の出願資格を入学時まで満たせなかった者は、入学手続後であっても入学の許可を取り消します。
- (7) 本学に入学を志願する方で、障害がある等、受験上及び就学上特別な配慮を希望する場合は、出願の前に、あらかじめ本学入試グループ（019-694-2014）まで申し出てください。

障害の程度によっては、受験上の特別措置（障害の程度に応じ、例えば、視覚障害の場合は、試験時間の1.3倍延長・別室での受験・拡大文字による出題、下肢機能障害の場合は、車椅子での受験・試験室への誘導等）を行うことがあります。

なお、相談の時期や方法については、後日公表する学生募集要項を参照してください。

5 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目および個別学力検査等の実施内容

※太字表示は必須教科・科目

学科・専攻名	大学入試センター試験		個別学力検査
	教科	科目	
生活科学科 生活科学専攻	国※ 数※ 理※ 外※	国（近代以降の文章のみ）※ 数Ⅰ・数A※ 物理基礎、化学基礎、生物基礎、物理、化学、生物から1 ただし、「基礎を付した科目（物理基礎、化学基礎、生物基礎）」については、2科目の受験で1科目とみなす。 英語（リスニングを含まない）※ 4教科4科目または4教科5科目	小論文
生活科学科 食物栄養学専攻	国※ 数※ 理※ 外※	国（近代以降の文章のみ）※ 数Ⅰ・数A※ 化学基礎、生物基礎、化学、生物から1 ただし、「基礎を付した科目（化学基礎、生物基礎）」については、2科目の受験で1科目とみなす。 英語（リスニングを含む）※ 4教科4科目または4教科5科目	小論文
国際文化学科	国※ 地歴 公民 外※	国※ 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B } から1 現社、倫理、政経、倫政経 英語（リスニングを含む）※ 3教科3科目	小論文

（注1） 生活科学科において、理科から2科目受験した場合は、高得点の1科目の成績を利用します。

ただし、理科の「基礎を付した科目」については、2科目の受験で1科目とみなします。

（注2） 国際文化学科において、地歴、公民から2科目（地歴と公民を1教科として扱います。）受験した場合は高得点の1科目の成績を利用します。

6 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点

試験区分・教科等 学科・専攻名	大学入試センター試験						個別学力検査等			合計
	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	計	小論文	調査書	計	
生活科学科 生活科学専攻	100	—	200	100	200	600	100	50	150	750
生活科学科 食物栄養学専攻	200	—	200	200	250	850	100	50	150	1,000
国際文化学科	200	100	—	—	250	550	100	—	100	650

（注1） 平成28年度大学入試センター試験の成績に限り利用します。

（注2） 大学入試センター試験の各教科の欄は、当該学科・専攻の受験に要する大学入試センターの教科（科目）の配点を示します。

（注3） 生活科学科生活科学専攻において、大学入試センター試験の数学は素点100点満点を200点満点に換算します。

（注4） 生活科学科食物栄養学専攻において、大学入試センター試験の国語（近代以降の文章のみ）、数学と理科は素点100点満点を200点満点に換算します。

○ 推薦入試（一般）

1 募集人員

学科・専攻名		推薦区分	募集人員
生活科学科	生活科学専攻	A	3名
		B	5名
	食物栄養学専攻	A	3名
		B	5名
国際文化学科		-	15名
合計		-	31名

2 実施日程

出願受付期間	学力検査等の日程	合格発表
平成27年11月3日（火）から 平成27年11月9日（月）（午後4時必着）	平成27年11月22日（日）	平成27年12月2日（水）

3 出願資格

本学の推薦入試（一般）に入学を志願できる者は、次の(1)から(4)までのすべてに該当する者としてします。

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 岩手県内の高等学校を平成28年3月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校の卒業を認められる者を含む。）で、推薦区分ごとに次の表に掲げる資格に該当するもの
- ② 岩手県外の高等学校又は中等教育学校を平成28年3月に卒業見込みの者（学校教育法施行規則第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校又は中等教育学校の卒業を認められる者を含む。）で、推薦区分ごとに次の表に掲げる資格に該当するもので、本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が出願期間の最終日の1年前（平成26年11月9日）から引き続き岩手県内に住所を有するもの
- ③ 岩手県内において、通常の課程による12年の学校教育を平成28年3月に修了見込みの者で、推薦区分ごとに次の表に掲げる資格に該当するもの
- ④ 岩手県外において、通常の課程による12年の学校教育を平成28年3月に修了見込みの者で、推薦区分ごとに次の表に掲げる資格に該当するもので、本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が出願期間の最終日の1年前（平成26年11月9日）から引き続き岩手県内に住所を有するもの

学科・専攻		推薦区分	資格
生活科学科	生活科学専攻	A	1、2に関する科目をあわせて12単位以上修得し、卒業（修了）見込みの者 1. 家庭に関する教科（※1） 2. 福祉に関する教科（※2） または、工業に関する学科を卒業見込みの者
		B	推薦区分A以外の卒業（修了）見込みの者
	食物栄養学専攻	A	1、2、3に関する科目をあわせて12単位以上修得し、卒業（修了）見込みの者 1. 家庭に関する教科（※1） 2. 福祉に関する教科（※2） 3. 上記以外の教科に含まれる食物に関する科目（※3）
		B	推薦区分A以外の卒業（修了）見込みの者
国際文化学科	———	———	すべての学科

- ※1 家庭基礎、家庭総合、生活デザインを除く科目で、服飾文化、リビングデザイン、フードデザイン、子どもの発達と保育、生活と福祉など。
 - ※2 社会福祉基礎、介護福祉基礎、福祉情報活用など。
 - ※3 食品製造、水産食品製造、食品化学、食品流通、水産食品管理など。
- (2) 人物に優れ、志願する学科への能力、適性があり、かつ専門分野の学習に意欲がある者として高等学校長等が責任を持って推薦できる者
 - (3) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者
 - (4) 全体の評定平均値が生活科学科生活科学専攻にあっては3.8以上、生活科学科食物栄養学専攻にあっては4.0以上、国際文化学科にあっては3.8以上の者

4 出願上の注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は受理しません。
- (2) 出願後の書類の内容変更はできません。
- (3) 受理した書類は返還しません。
- (4) 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学後であっても入学の許可を取り消します。
- (5) 上記の出願資格を入学時まで満たせなかった者は、入学手続後であっても入学の許可を取り消します。
- (6) 本学に入学を志願する方で、障害がある等、受験上及び就学上特別な配慮を希望する場合は、出願の前に、あらかじめ本学入試グループ（019-694-2014）まで申し出てください。
 障害の程度によっては、受験上の特別措置（障害の程度に応じ、例えば、視覚障害の場合は、試験時間の1.3倍延長・別室での受験・拡大文字による出題、下肢機能障害の場合は、車椅子での受験・試験室への誘導等）を行うことがあります。
 なお、相談の時期や方法については、後日公表する学生募集要項を参照してください。

5 推薦人数

推薦人数は、各高等学校等から生活科学科生活科学専攻に1名、食物栄養学専攻に1名、国際文化学科に2名、計4名です。

また、分校のある場合は、本校、分校のそれぞれからの推薦が可能です。

なお、統合に伴い、旧高等学校の生徒が統合校に移行する場合は、その生徒が卒業するまでの間、統合前の旧高等学校ごとの推薦が可能です。

6 入学者選抜等の実施内容

大学入試センター試験を免除し、提出された推薦書、調査書及び本学が要求する書類等の出願書類並びに本学が実施する小論文及び面接により総合的に判定します。

学科・専攻名	実施内容
生活科学科 生活科学専攻 食物栄養学専攻 国際文化学科	小論文 面接

7 配点

学科・専攻名	小論文	面接	調査書	合計
生活科学科 生活科学専攻 食物栄養学専攻	75	55	20	150
国際文化学科	100	50	50	200

○ 推薦入試（特別）

推薦入試（特別）は国際文化学科のみ実施します。

1 募集人員

学科名	募集人員
国際文化学科	5名

2 実施日程

出願受付期間	学力検査等の日程	合格発表
平成27年11月3日（火）から 平成27年11月9日（月）（午後4時必着）	平成27年11月22日（日）	平成27年12月2日（水）

3 出願資格

本学の推薦入試(特別)に入学を志願できる者は、次の(1)から(4)までのすべてに該当する者としてします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を平成28年3月に卒業見込みの者(学校教育法施行規則第104条第3項の規定により、学年の途中において、学期の区分に従い、高等学校等の卒業を認められる者を含む。)及び通常の課程による12年の学校教育を平成28年3月に修了見込みの者
- (2) 学力、人物とも優秀で、国際文化学科への勉学意欲、能力・適性があり、かつ専門分野の学習に意欲がある者として高等学校長等が責任を持って推薦できる者
- (3) 特定技能について特別に優れた取得資格(下表)を有する者
- (4) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

【特別に優れた取得資格一覧】

資格名称	基準	認定団体または問い合わせ先
《英語》		
TOEFL ITP	440点以上	国際教育交換協議会（CIEE）日本代表部
TOEFL iBT	42点以上	国際教育交換協議会（CIEE）日本代表部
TOEIC®	470点以上	(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会
ポキャブラリ英語検定（V検）	5級以上	ポキャブラリ英語検定委員会
ケンブリッジ大学一般英語検定試験	PET (レベル2) 以上	ケンブリッジ英語検定事務局
全商英語検定試験	1級	(公財)全国商業高等学校協会
工業英語能力検定試験	4級以上	(公社)日本工業英語協会（JSTC）
国際英検G-TELP	レベル3以上	G-TELP日本事務局
国際連合公用語英語検定試験	C級以上	(公財)日本国際連合協会
実用英語検定	2級以上	(公財)日本英語検定協会
《韓国語》		
韓国語能力試験	1級以上	(公財)韓国教育財団
「ハングル」能力検定試験	5級以上	特定非営利活動法人ハングル能力検定協会
《中国語》		
中国語検定試験	準4級以上	(一財)日本中国語検定協会
《フランス語》		
実用フランス語技能検定試験	5級以上	(公財)フランス語教育振興協会
《ドイツ語》		
ドイツ語技能検定試験	4級以上	(公財)ドイツ語学文学振興会
《国語》		
日本漢字能力検定	2級以上	(公財)日本漢字能力検定協会
《歴史》		
歴史能力検定	2級以上	歴史能力検定協会、(公財)社会教育協会

※ 以上の資格についての詳細は、それぞれの団体にお問い合わせください。

4 出願上の注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は受理しません。
- (2) 出願後の書類の内容変更はできません。
- (3) 受理した書類は返還しません。
- (4) 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学後であっても入学の許可を取り消します。
- (5) 上記の出願資格を入学時まで満たせなかった者は、入学手続後であっても入学の許可を取り消します。
- (6) 本学に入学を志願する方で、障害がある等、受験上及び就学上特別な配慮を希望する場合は、出願の前に、あらかじめ本学入試グループ（019-694-2014）まで申し出てください。

障害の内容によっては、受験上の特別措置（障害の程度に応じ、例えば、視覚障害の場合は、試験時間の1.3倍延長・別室での受験・拡大文字による出題、下肢機能障害の場合は、車椅子での受験・試験室への誘導等）を行うことがあります。

なお、相談の時期や方法については、後日公表する学生募集要項を参照してください。

5 推薦人数

各高等学校等からの推薦人数の制限はありません。

6 入学者選抜等の実施内容

学科名	実施内容
国際文化学科	小論文 面接

7 配点

学科名	小論文	面接	調査書等	合計
国際文化学科	100	50	50	200

※ 調査書等には、調査書および特別に優れた取得資格の証明書を含みます。

○ 社会人入試

公表時期になりましたら、本学ホームページ上で公表しますので、要項をダウンロード・プリントアウトしたうえで、必要事項を記入して、本学に提出してください。

これまでと提出方法が変更となりますので、早めの対応をお願いいたします。

1 募集人員

学科・専攻名		募集人員
生活科学科	生活科学専攻	若干名
	食物栄養学専攻	若干名
国際文化学科		若干名
合 計		若干名

2 実施日程

出願受付期間	学力検査等の日程	合格発表
平成27年11月3日（火）から 平成27年11月9日（月）（午後4時必着）	平成27年11月22日（日）	平成27年12月2日（水）

3 出願資格

<生活科学科>

平成28年4月1日現在で満23歳に達している者で、就業経験（家事を含む。）を有し、次のいずれかに該当するものとします。

- (1) 高等学校等を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※ 出願資格の(3)について、学校教育法施行規則第150条第7号の「個別の入学資格審査」を受けて出願しようとする者は、事前に資格審査を受けなければなりません。詳細については、本学入試グループ(019-694-2014)又は本学ホームページで確認してください。

(URL : <http://www.iwate-pu.ac.jp/>)

<国際文化学科>

平成28年4月1日現在で満21歳に達している者で、就業経験（家事を含む。）を有し、次のいずれかに該当するものとします。

- (1) 高等学校等を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 校教育法施行規則第150条（第6号を除く）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※ 出願資格の(3)について、学校教育法施行規則第150条第7号の「個別の入学資格審査」を受けて出願しようとする者は、事前に資格審査を受けなければなりません。詳細については、本学入試グループ(019-694-2014)又は本学ホームページで確認してください。

(URL : <http://www.iwate-pu.ac.jp/>)

4 出願上の注意

- (1) 出願書類に不備がある場合は受理しません。
- (2) 出願後の書類の内容変更はできません。
- (3) 受理した書類は返還しません。
- (4) 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学後であっても入学の許可を取り消します。
- (5) 上記の出願資格を入学時まで満たせなかった者は、入学手続後であっても入学の許可を取り消します。
- (6) 本学に入学を志願する方で、障害がある等、受験上及び就学上特別な配慮を希望する場合は、出願の前に、あらかじめ本学入試グループ(019-694-2014)まで申し出てください。

障害の内容によっては、受験上の特別措置（障害の程度に応じ、例えば、視覚障害の場合は、試験時間の1.3倍延長・別室での受験・拡大文字による出題、下肢機能障害の場合は、車椅子での受験・試験室への誘導等）を行うことがあります。

なお、相談の時期や方法については、後日公表する学生募集要項を参照してください。

5 入学者選抜等の実施内容及び配点

大学入試センター試験を免除し、本学が要求する書類等の出願書類、本学が実施する小論文及び面接により、総合的に判定します。

実施内容

学科・専攻名	実施内容
生活科学科 生活科学専攻 食物栄養学専攻 国際文化学科	小論文 面接

配点

学科・専攻名	小論文	面接	合計
生活科学科 生活科学専攻 食物栄養学専攻	75	75	150
国際文化学科	100	50	150

○ 帰国子女入試、中国引揚者等子女入試、私費外国人留学生入試

帰国子女入試、中国引揚者等子女入試、私費外国人留学生入試は、国際文化学科のみ実施します。公表時期になりましたら、本学ホームページ上で公表しますので、要項をダウンロード・プリントアウトしたうえで、必要事項を記入して、本学に提出してください。これまでと提出方法が変更となりますので、早めの対応をお願いいたします。

1 募集人員

学科名	帰国子女入試	中国引揚者等子女入試	私費外国人留学生入試
国際文化学科	若干名	若干名	若干名

2 実施日程

出願受付期間	学力検査等の日程	合格発表
平成27年11月3日(火) から 平成27年11月9日(月)(午後4時必着)	平成27年11月22日(日)	帰国子女入試 中国引揚者等子女入試 平成27年12月2日(水)
		私費外国人留学生入試 平成28年1月22日(金)

3 出願資格

○ 帰国子女入試

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であって、保護者の海外勤務等の事情により、外国の教育を受けた者で、次のいずれかに該当するものとします。(保護者が転勤等により先に帰国した場合は、その後の単身在留が1年未満であること。)

- (1) 外国において、最終学年を含め2年以上継続して学校教育を受け、学校教育における12年の課程(注)を平成26年4月1日から平成28年3月31日までに修了(卒業)した者及び修了(卒業)見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (2) 外国において、2年以上継続して学校教育を受け、学校教育における12年の課程(注)を中途退学し、引き続き日本の高等学校等の第3学年に編入学を認められた者で、平成28年3月卒業見込みのもの
- (3) 平成26年又は平成27年に次のいずれか一つを外国において取得した者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの
 - ・スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
 - ・ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - ・フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格

(注) (1)及び(2)において、12年の課程には日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれます。ただし、外国に設置された教育機関であっても日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとみなしません。

○ 中国引揚者等子女入試

中国引揚者等子女であって、日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であって、保護者が引揚者であり、日本国へ引揚後、原則として9年以下である者のうち、学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条の規定により大学の入学資格を有する者又は平成28年3月31日までに入学資格を有することとなる見込みのもの。

○ 私費外国人留学生入試

日本の国籍を有しない者で、次の(1)から(3)までのすべてに該当するものとします。

(1) 次のいずれかに該当する者

ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了（卒業）した者及び平成28年3月31日までに修了（卒業）見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ 次のいずれか一つを外国において取得した者で平成28年3月31日までに18歳に達するもの

・スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格

・ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格

・フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格

(2) 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）において、大学入学に支障のない在留資格を有する者及び本学入学により有することとなる者（日本国永住者を除く。）

(3) 独立行政法人日本学生支援機構が行う平成27年度日本留学試験（注1、注2）を学部の指定するところにより受験した者

（注1） 日本留学試験の受験科目については、「日本語」および「総合科目」（出題言語はいずれも日本語）とし、平成27年度の成績に限り利用します。

なお、英語を母語としない者は、上記の試験の受験のほか、TOEFL（TOEFL-iBT、TOEFL-ITPのいずれか）またはTOEIC（ただし、TOEIC Bridgeを除く。）の受験を要します。（注3、注4）

（注2） 日本留学試験については、下記にお問い合わせください。

独立行政法人 日本学生支援機構留学生事業部留学試験課

電 話： 03 (6407) 7457

U R L： <http://www.jasso.go.jp/eju/index.html>

（注3） TOEFLについては、平成25年11月10日以降に受験したものを有効とします。

TOEFLについては、下記にお問い合わせください。

国際教育交換協議会 (CIEE) 日本代表部

電 話： 03 (5467) 5501

U R L： <http://www.cieej.or.jp/>

（注4） TOEICについては、平成25年11月10日以降に受験したものを有効とします。TOEICについては、下記にお問い合わせください。

(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会TOEIC運営委員会

電 話： 03 (5521) 6033(土・日・祝日を除く10:00~17:00)

U R L： <http://www.toeic.or.jp/toeic/>

4 出願上の注意

(1) 出願書類に不備がある場合は受理できません。

(2) 出願後の書類の内容変更はできません。

(3) 受理した書類は返還しません。

(4) 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学後であっても入学の許可を取り消します。

(5) 上記の出願資格を入学時まで満たせなかった者は、入学手続後であっても入学の許可を取り消します。

(6) 本学に入学を志願する方で、障害がある等、受験上及び就学上特別な配慮を希望する場合は、出願の前に、あらかじめ本学入試グループ(019-694-2014)まで申し出てください。

障害の内容によっては、受験上の特別措置（障害の程度に応じ、例えば、視覚障害の場合は、試験時間の1.3倍延長・別室での受験・拡大文字による出題、下肢機能障害の場合は、車椅子での受験・試験室への誘導等）を行うことがあります。

なお、相談の時期や方法については、後日公表する学生募集要項を参照してください。

5 入学者選抜等の実施内容及び配点

ア 帰国子女入試、中国引揚者等子女入試及び社会人入試

大学入試センター試験を免除し、本学が要求する書類等の出願書類、本学が実施する小論文及び面接により、総合的に判定します。

実施内容

学科名	実施内容
国際文化学科	小論文 面接

配 点

学科名	小論文	面接	合計
国際文化学科	100	50	150

イ 私費外国人留学生入試

大学入試センター試験を免除し、日本留学試験並びに本学が要求する書類等の出願書類、本学が実施する小論文及び面接により、総合的に判定します。

実施内容

学科名	実施内容
国際文化学科	小論文 面接

配 点

学科名	小論文	面接	合計
国際文化学科	100	50	150

Ⅱ 平成27年度入学者選抜合格者成績統計

1 一般入試合格者の最高点、最低点及び平均点

(生活科学科生活科学専攻の2次募集は、合格者少数のため非公開とします。)

学科・専攻名		最高点	最低点	平均点	満点
生活科学科	生活科学専攻	459	354	409	750
	食物栄養学専攻	720	610	643	1,000
国際文化学科		470	399	424	650

※ 上記の点数は、生活科学科にあつては大学入試センター試験並びに小論文及び調査書の合計点、国際文化学科にあつては大学入試センター試験及び小論文の合計点です。

2 推薦入試（一般）合格者の最高点、最低点及び平均点

(推薦入試（一般）の生活科学科各専攻及び推薦入試（特別）は、合格者少数のため非公開とします。)

学 科 名	最高点	最低点	平均点	満点
国際文化学科	157	130	142	200

※ 上記の点数は、小論文、面接及び書類（調査書）の評価の合計点です。

3 平成27年度岩手県立大学盛岡短期大学部 入学者選抜結果

(単位：人、倍)

選抜区分	学科・専攻	募集人員 (a)	志願者数 (b)	受験者数 (c)	合格者数 (d)	入学者数 (e)	実質倍率 (c) / (d)	
一般入試	生活科学科	34	86	55	42	38	1.3	
	生活科学専攻	17	25	17	17	15	1.0	
	食物栄養学専攻	17	61	38	25	23	1.5	
	国際文化学科	30	147	95	55	44	1.7	
	計	64	233	150	97	82	1.5	
2次募集								
	生活科学専攻	若干名	4	4	4	4	1.0	
	計	若干名	4	4	4	4	1.0	
推薦入試（一般）	生活科学科	16	21	21	12	12	1.8	
	生活科学専攻	8	4	4	4	4	1.0	
	食物栄養学専攻	8	17	17	8	8	2.1	
	国際文化学科	15	23	23	16	16	1.4	
	計	31	44	44	28	28	1.6	
推薦入試（特別）								
	国際文化学科	5	12	12	6	6	2.0	
	計	5	12	12	6	6	2.0	
特別入試	震災特別推薦入試	生活科学科	若干名	1	1	1	1	1.0
		生活科学専攻	若干名	1	1	1	1	1.0
		食物栄養学専攻	若干名	0	0	0	0	-
		国際文化学科	若干名	0	0	0	0	-
		計	若干名	1	1	1	1	1.0
	帰国子女	国際文化学科	若干名	0	0	0	0	-
		計	若干名	0	0	0	0	-
		中国引揚者等子女						
	社会人	国際文化学科	若干名	0	0	0	0	-
		計	若干名	0	0	0	0	-
		国際文化学科	若干名	1	1	1	1	1.0
		計	若干名	1	1	1	1	1.0
私費外国人留学生	国際文化学科	若干名	0	0	0	0	-	
	計	若干名	0	0	0	0	-	
	国際文化学科	若干名	0	0	0	0	-	
	計	若干名	0	0	0	0	-	
合計	生活科学科	50	112	81	59	55	1.4	
	生活科学専攻	25	34	26	26	24	1.0	
	食物栄養学専攻	25	78	55	33	31	1.7	
	国際文化学科	50	183	131	78	67	1.7	
	計	100	295	212	137	122	1.5	
入学者		男	女	県内	県外	現役	その他	
122		17	105	73	49	112	10	
		3.0%	86.1%	59.8%	40.2%	91.8%	8.2%	

Ⅲ 平成29年度入学者選抜の変更（予告）

推薦入試（特別）の出願資格

出願資格である「特別に優れた取得資格一覧」を次表のとおり変更します。

【特別に優れた取得資格一覧】

資 格 名 称	基 準	認 定 団 体 ま た は 問 い 合 わ せ 先
《英語》 TOEFL ITP TOEFL iBT TOEIC® GTEC for students 全商英検検定試験 工業英語能力検定試験 実用英語検定	440点以上 42点以上 470点以上 550点以上 1級 4級以上 2級以上	国際教育交換協議会（CIEE）日本代表部 国際教育交換協議会（CIEE）日本代表部 （一財）国際ビジネスコミュニケーション協会 （株）ベネッセコーポレーション （公財）全国商業高等学校協会 （公社）日本工業英語協会（JSTC） （公財）日本英語検定協会
《韓国語》 韓国語能力試験 「ハングル」能力検定試験	1級以上 4級以上	（公財）韓国教育財団 特定非営利活動法人ハングル能力検定協会
《中国語》 中国語検定試験	4級以上	（一財）日本中国語検定協会
《フランス語》 実用フランス語技能検定試験	4級以上	（公財）フランス語教育振興協会
《ドイツ語》 ドイツ語技能検定試験	4級以上	（公財）ドイツ語学文学振興会
《ロシア語》 ロシア語能力検定試験	4級以上	ロシア語能力検定委員会、特定非営利活動法人 日本ユーラシア協会
《スペイン語》 DELE（外国語としてのスペイン語検定試験）	A2以上	DELE運営事務局、セルバンテス文化センター東京
《国語》 日本漢字能力検定	2級以上	（公財）日本漢字能力検定協会
《歴史》 歴史能力検定	2級以上	歴史能力検定協会、（公財）社会教育協会

※ 以上の資格についての詳細は、それぞれの団体にお問い合わせください。

IV 参考資料

1 学生募集要項の発表時期・交付期間

選抜区分	発表時期・交付期間
推薦入試 (一般・特別)	平成27年9月下旬～平成27年11月9日まで (学校請求のみ受け付けます。個人請求は受け付けません。)
社会人入試 帰国子女入試 中国引揚者等子女入試 私費外国人留学生入試	平成27年9月下旬～平成27年11月9日まで(注2)
一般入試	平成27年9月下旬～平成28年2月16日まで

(注1) 各選抜区分とも、出願開始日以降に請求された場合は、お手元への到着が遅れ、出願できないことも予想されますが、その場合の責任は本学では負いかねます。

(注2) 公表時期になりましたら、本学ホームページ上で公表しますので、要項をダウンロード・プリントアウトしたうえで、必要事項を記入して、本学に提出してください。
これまでと提出方法が変更となりますので、早めの対応をお願いいたします。

2 学生募集要項の請求方法

(1) 本学に請求する場合

① 返信用封筒送付による請求

請求用封筒の表及び返信用封筒(角形2号、400円分の切手貼付、受取人の郵便番号、住所、氏名及び電話番号を明記)の裏に「盛岡短期大学部募集要項請求」と朱書きし、さらに希望する学科・選抜区分(例:「生活科学科・一般入試」等)を明記し、本学入試グループまで送付してください。

② ファックスによる請求

本書21ページの資料請求依頼書をコピーし、必要事項を明記のうえ、本学入試グループまで送信してください。本学からは、受取人着払いで送付します。

(宅配便の送料は地域によって異なりますが、概ね800円から1,600円となります。)

③ 来学による請求

各選抜区分とも、交付期間中は来学して交付を受けられます。入試グループに請求してください。

注:(1)の①、②での請求については、お手元に届くまで1週間以上日数を要することがありますので、余裕をもって請求願います。また、送付時には募集要項のほか入学案内が同封されます。

◆本学請求先((1)の①、②の方法による場合)◆

〒020-0693 岩手県滝沢市菓子152-52 岩手県立大学教育研究支援室入試グループ

電話 019-694-2014(直通) FAX 019-694-2035

電話による問い合わせについては、平日の9:00～17:00までの受付となります。土、日曜日及び祝日の受付は行いません。

(2) テレメールを利用して請求する場合

① 本学ホームページから請求する場合

本学のホームページ(<http://www.iwate-pu.ac.jp/>)から、直接、テレメールによる請求ができます。

- ② インターネット（パソコン・スマホ・携帯電話）または自動音声応答電話で請求する場合
ア 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。


インターネットの場合 (パソコン・スマホ・携帯電話)	http://telemail.jp バーコードからアクセス した場合は資料請求番号 の入力は不要です。	
自動音声応答 電話の場合	IP電話 050-8601-0101 ※IP電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも3分ごとに約12円です。 ※住所氏名等の登録時はゆっくり・はっきりとお話してください。登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。	

イ 請求を希望する資料請求番号（6桁）をプッシュまたは入力してください。

資料名	資料請求番号	料金(送料含む)(見込み)	発送開始日(予定)
入学案内のみ	570162	180円	5月25日
入学者選抜要項のみ	590162	140円	5月25日
入学者選抜要項+入学案内	570152	215円	5月25日
学生募集要項のみ	590152	215円	10月5日
学生募集要項+入学案内	550152	300円	10月5日

ウ あとはガイダンスに従って登録してください。

①、②に関する注意事項
<ul style="list-style-type: none"> 資料請求終了時及び受付確認メールで告知される10桁の「受付番号」は資料到着まで保管しておいてください。 請求から2～3日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては4日以上かかる場合もあります。なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。 料金はお届けする資料に同封の支払い方法に従ってお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要になります。(携帯電話での支払いは50円、コンビニ支払いは86円。ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは80円、窓口扱いは130円。クレジットカード払いは50円。複数資料の料金をまとめて支払うこともできます)。

(2)の①、②の請求方法についてのお問い合わせ先： テレメールカスタマーセンター 電話 050-8601-0102 (9:30~18:00)	
--	---

3 前年度過去問題の請求方法

(1) 返信用封筒送付による請求

請求用封筒の表及び返信用封筒（角形2号、205円分の切手貼付、受取人の郵便番号、住所、氏名及び電話番号を明記）の裏に「盛岡短期大学部過去問題請求」と朱書きし、さらに希望する学科名（例：「生活科学科」等）を明記し、本学入試グループまで送付してください。

(2) 来学による請求

来学して交付を受けられます。入試グループに請求してください。

資料請求依頼書

1 送付先 〒 _____
住所 _____

氏名 _____

2 連絡先電話番号 _____
自宅 ・ その他 (_____)

3 希望資料名

※希望する資料の□にレ印を付けてください。

 学生募集要項

入学願書の含まれた学生募集要項です。希望する選抜の□にレ印を付けてください。
一般入試以外は、該当する選抜を○で囲んでください。

 一般入試

 入学案内

盛岡短期大学部の入学案内です。

 入学者選抜要項

入試の全選抜の要項です。願書は付いていません。

 過去問題（過去1年分）

※希望する学科を記入し、希望する選抜の□にレ印を付けてください。

_____ 学科

 一般入試

 推薦入試

 その他 (_____)

※帰国子女入試・中国引揚者等子女入試・社会人入試・私費外国人留学生入試については、前年度志願者がいない場合は過去問題がありませんので、請求前に入試グループまでお問い合わせください。

岩手県立大学 教育研究支援室 入試グループ

〒020-0693 岩手県滝沢市巣子152-52

FAX番号：019-694-2035

電話番号：019-694-2014

4 その他

(1) 個人情報の取り扱いについて

各入学者選抜の出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績については、法令に基づく場合を除き、原則として第三者に提供することはありません。なお、入学者選抜に用いた個人情報については、入学者選抜に関わる業務（入学者選抜に付随する統計処理などの業務及び入学者選抜方法研究等のための業務などを含む）及び入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務を行うために利用します。

(2) インターネットを利用した入試情報の提供

岩手県立大学盛岡短期大学部ホームページにおいて、各選抜の出願状況や選抜結果、オープンキャンパスのお知らせや選抜内容の変更などの入試に関する通知等も随時掲載します。

入試に関する事項の照会や質問については、Eメールでも受け付けています。

岩手県立大学盛岡短期大学部ホームページ http://www.iwate-pu.ac.jp/jc/
受験生向け携帯サイト http://daigakujc.jp/iwate-pu/

入試グループメールアドレス ipu-nyushi@ml.iwate-pu.ac.jp

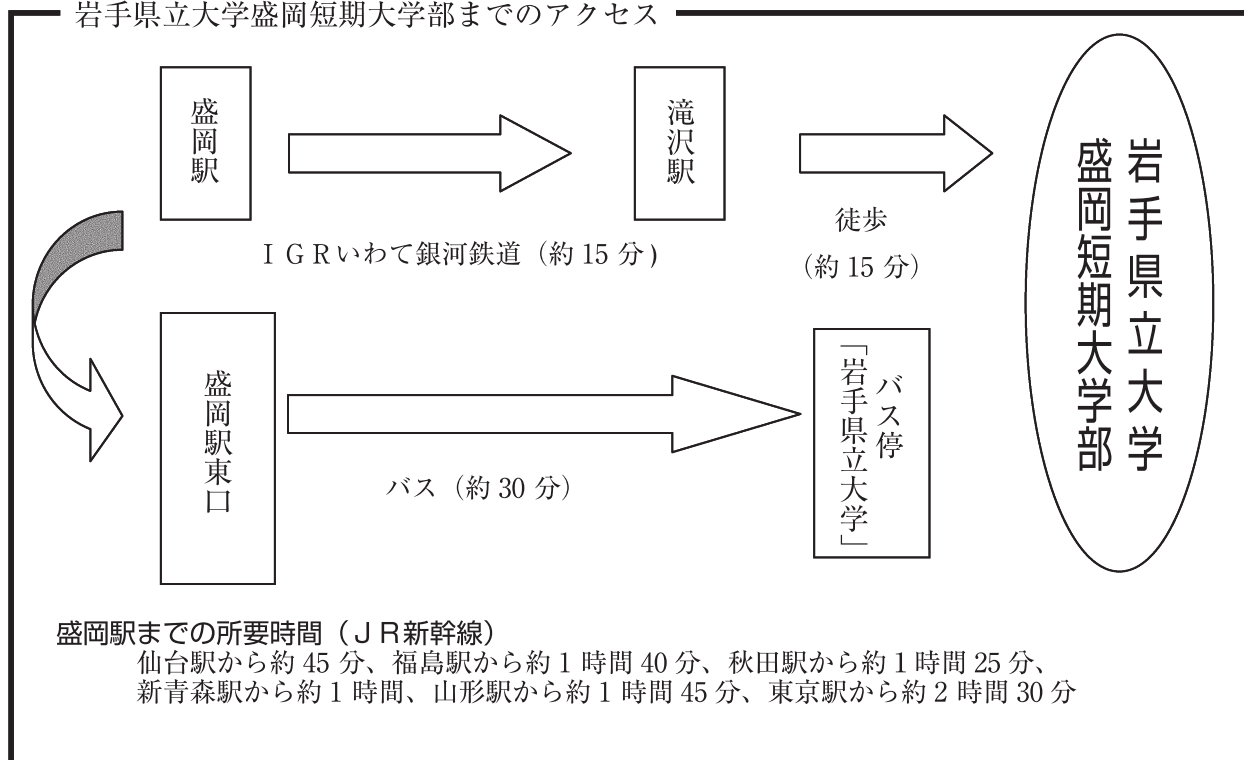
(3) 岩手県立大学盛岡短期大学部までの交通

鉄道利用：盛岡駅から I G Rいわて銀河鉄道 滝沢駅（約15分）、滝沢駅から徒歩約15分

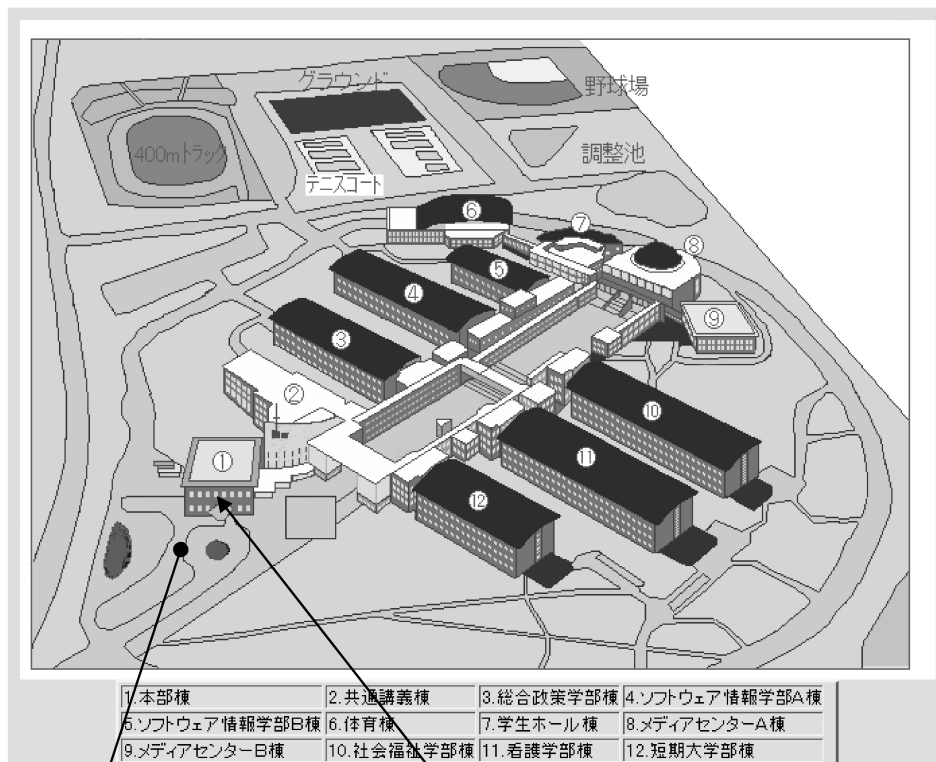
バス利用：盛岡駅東口2番乗り場から「県立大学行」バス（岩手県北バス又は岩手県交通、約30分）「岩手県立大学」下車

※バス停「岩手県立大学入口」で降りると大学構内まで徒歩で5分ほどかかりますのでご注意ください。

岩手県立大学盛岡短期大学部までのアクセス



岩手県立大学 配置図



バス停「岩手県立大学」

バス停「岩手県立大学」で降車すると大学構内の本部棟前で降りることができます。
 ※バス停「岩手県立大学入口」で降りると大学構内まで徒歩で5分ほどかかりますのでご注意ください。

教育研究支援室 入試グループ (本部棟2階)

〒020-0693 岩手県滝沢市菓子 152-52

TEL 019-694-2014 (8:30~17:15)

FAX 019-694-2035

メールアドレス ipu-nyushi@ml.iwate-pu.ac.jp

岩手県立大学ホームページ <http://www.iwate-pu.ac.jp/>

受験生向け携帯サイト <http://daigakuic.jp/iwate-pu/>

5 お問い合わせ

本学への各種問い合わせについては、下記により行ってください。

〔問い合わせ時間等〕

月曜日から金曜日まで（休日を除く）8：30～12：00 および13：00～17：15

〔問い合わせ電話番号〕

- | | | |
|----------------|--------------|---------------|
| ● 入学試験・入学料納付 | [入試グループ | 019-694-2014] |
| ● 奨学金・授業料免除 | [学生支援グループ | 019-694-2010] |
| ● 学生寮 | [学生支援グループ | 019-694-2010] |
| ● 授業料納付 | [管財契約グループ | 019-694-2002] |
| ● 授業内容、取得可能な資格 | [教務・国際交流グループ | 019-694-2012] |